

令和8年度クレーン設備点検整備作業単価契約
仕様書

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
那珂フュージョン科学技術研究所
管理部 工務課

1. 件名

令和 8 年度クレーン設備点検整備作業単価契約

2. 目的

本件は、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「QST」という。）那珂フュージョン科学技術研究所構内各建家に設置しているクレーン設備の点検整備を受注者に請負わせるための仕様について定めたものである。受注者は、クレーン設備の構造、関係法令等を十分理解し、受注者の責任と負担において計画立案し本作業を実施するものとする。

3. 契約範囲

- (1)月例点検（1回／月）クレーン等安全規則第35条の自主検査
- (2)年次点検（1回／年）クレーン等安全規則第34条の自主検査
- (3)荷重試験（性能検査時）クレーン等安全規則第40条の荷重試験
- (4)荷重試験（自主検査時）クレーン等安全規則第34条第3項の荷重試験
- (5)条件付合格に対応するための再荷重試験
- (6)実機試験の対応

4. 対象設備

別添-1「対象クレーン設備」のとおりである。

5. 作業実施場所

添付資料、那珂フュージョン科学技術研究所 構内建家配置図参照

6. 実施期間

- (1)令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで。

なお、QST が必要と認めた場合には、QST の指示により、土曜日、日曜日、祝日（年末年始(12月 29 日から翌年 1 月 3 日まで)を除く）であっても作業を実施することがある。

- (2)実施時間

原則として、次の時間帯に実施する。

9：00～17：30

ただし、QST が必要と認めた場合には、QST の指示により、上記に定める時間以外の時間であっても作業を実施することがある。

7. 作業内容

本作業を実施するにあたっては、本仕様書に定める事項の他、クレーン設備の構造取扱方法を十分理解のうえ実施するものとし、受注者は予め実施方法について実施要領書を定め、QST に提出し実施方法等を検討するものとする。

なお、点検を実施するクレーン設備については、月初めに QST からの指示書にて指示するものとし、点検したクレーン設備ごとに作業前、中、後の作業写真を撮影し、作業報告書に合わせて提出すること。

(1)月例点検（一般区域）

添付資料 令和8年度クレーン年間自主検査実施計画

「クレーン等安全規則」第35条に定める項目に準じる。

※年間点検予定台数

① 0.5t 以上 3t 未満	216台
② 3t 以上 10t 未満	55台
③ 10t 以上 30t 未満	33台
④ 30t 以上 40t 未満	22台
⑤ 40t 以上 100t 未満	11台
⑥ 100t 以上	14台
⑦ 橋形クレーン	11台

(2)月例点検（管理区域）

添付資料 令和8年度クレーン年間自主検査実施計画

「クレーン等安全規則」第35条に定める項目に準じる。

※年間点検予定台数

① 0.5t 以上 3t 未満	39台
② 3t 以上 10t 未満	26台
③ 10t 以上 30t 未満	22台
④ 30t 以上 40t 未満	11台
⑤ 40t 以上 100t 未満	11台
⑥ 100t 以上	14台

(3)年次点検（一般区域）

添付資料 令和8年度クレーン年間自主検査実施計画

「クレーン等安全規則」第34条に定める項目に準じる。

※年間点検予定台数

① 0.5t 以上 3t 未満	30台
② 3t 以上 10t 未満	6台
③ 10t 以上 30t 未満	3台
④ 30t 以上 40t 未満	2台
⑤ 40t 以上 100t 未満	1台
⑥ 100t 以上	2台
⑦ 橋形クレーン	1台

(4)年次点検（管理区域）

添付資料 令和8年度クレーン年間自主検査実施計画

「クレーン等安全規則」第34条に定める項目に準じる。

※年間点検予定台数

① 0.5 t 以上 3 t 未満	5 台
② 3 t 以上 10 t 未満	4 台
③ 10 t 以上 30 t 未満	2 台
④ 30 t 以上 40 t 未満	1 台
⑤ 40 t 以上 100 t 未満	1 台
⑥ 100 t 以上	2 台

(5) 荷重試験

※年間予定トン数

① 一般区域

性能検査の荷重試験総トン数は 168 t、自主検査の荷重試験総トン数は 246.7 t と計画する。

② 管理区域

性能検査の荷重試験総トン数は 154 t、自主検査の荷重試験総トン数は 118.6 t と計画する。

添付資料 令和 8 年度クレーン年間自主検査実施計画参照

「クレーン等安全規則」第 34 条第 4 項に定める項目に準じ試験を行うこと。

荷重試験については、以前 QST が茨城労働基準監督署へ自主検査の免除申請を提出し、申請が受理されており添付資料の表に記された※印のクレーンについては自主検査の荷重試験は省略することとする。

また、試験に使用するウエイトの手配及び運搬等は受注者側にて全て対応することとする。

(6) 免除申請のクレーンについて

免除申請の受理された定格 30t を超えるクレーンの荷重試験は 30t にて行うものとする。また補巻の定格が 30t を超えるクレーンの補巻については条件付合格となっているため、その条件を超える場合には再荷重試験を行う。申請は QST が行う。なお、再荷重試験に使用するウエイトの手配及び運搬等は受注者側にて全て対応することとする。

(7) 実荷重試験(免除申請が受理されているクレーンの実機試験)

QST が実荷重試験を実施する際は、試験に立ち会い QST 担当者の指示に従う。

(8) 修理作業

本作業で発見された異常・故障等で修理を要する場合は、QST と協議のうえ決定する。

(9) クレーン点検予定台数及び荷重試験の総トン数は、令和 8 年度の予定数量である発注数量に増減が生じた場合でも異議を申し立てないこととする。

8. 作業に必要な資格等

- (1) クレーン運転士免許
- (2) 玉掛け技能講習修了証
- (3) 天井クレーン定期自主検査者

- (4) 放射線業務従事者
- (5) フォークリフト運転技能講習修了証
- (6) クレーンメンテナンス教育修了証もしくは同等修了資格
- (7) 高所作業車運転技能講習修了証
- (8) 小型移動式クレーン運転技能講習修了証

9. 支給品及び貸与品等

(1) 支給品

ア 電気、水

(2) 貸与品等

放射線管理区域に入室する際は、下記貸与品以外は受注者が準備すること。

ア 個人線量計（ガラスバッジ）

イ 管理区域用作業服

ウ 管理区域用作業靴

エ 管理区域用ヘルメット

10. 提出書類

図書名	提出時期	部数	確認
総括責任者及び代理人届	契約締結後速やかに	2部	要
作業実施要領書 (工程表、緊急時連絡体制表、体制表含む)	契約締結後速やかに	2部	要
作業員名簿	契約締結後速やかに	1部	不要
指定登録依頼書（確認用資料含む）	作業予定日 1週間前までに	必要数	不要
指定解除登録依頼書	作業終了後速やかに	必要数	不要
月間作業計画表	作業予定日 1週間前までに	必要数	不要
作業日報	作業終了後速やかに	1部	不要
作業報告書（写真記録含む）	作業終了後速やかに	1部	不要
再委託承諾願	作業開始 2週間前まで	1部	要
※下請負等がある場合に提出			
外国人来訪者票 (QST 指定様式)	入構の 2週間前まで (外国籍の者、または、日本国籍で非居住者の入構がある場合に提出すること。)	1部	要
その他 QST が必要とする書類（その都度）	別途協議	別途協議	別途協議

(提出場所)

QST 那珂フュージョン科学技術研究所 管理部 工務課

(確認方法)

「確認」は次の方法で行う。

QST は、確認のために提出された書類を受理したときは、期限日を記載した受領印

を押印して返却する。また、当該期限までに審査を完了し、確認しない場合には修正を指示し、修正等を指示しないときは、確認したものとする。

ただし、「再委託承諾願」は、QST が確認後、書面にて回答する。

11. 検査条件

「10. 提出書類」の確認及び仕様書に定める作業が実施されたと QST が認めたときをもって、検査合格とする。

12. 特記事項

(1) QST が量子科学技術の研究・開発を行う機関であるため、高い技術力及び高い信頼性を社会的に求められていることを認識し、QST の規程等を遵守し安全に配慮し業務を遂行しうる能力を有する者を従事させること。

(2) 業務履行上知り得た情報を QST の許可なく第三者に口外してはならない。

(3) 業務の実施に当たっては、下記の諸規定を遵守するものとし、QST が安全確保の為の指示を行った時は、その指示に従うものとする。

- ア 那珂フュージョン科学技術研究所 電気工作物保安規程及び規則
- イ 那珂フュージョン科学技術研究所 事故対策規則
- ウ 那珂フュージョン科学技術研究所 放射線障害予防規程
- エ 那珂フュージョン科学技術研究所 放射線安全取扱手引
- オ 那珂フュージョン科学技術研究所 クレーン運転保守要領
- カ 那珂フュージョン科学技術研究所 玉掛け作業要領
- キ 労働安全衛生法
- ク その他関係法令及び所内規程

(4) 異常事態が発生した場合、QST の指示に従い行動するものとする。

(5) 従事者に関しては労働基準法、労働安全衛生法その他法令上の責任及び従事者の規律秩序及び風紀の維持に関する責任を全て負うものとする。

(6) その他仕様書に定めのない事項については、QST と協議の上、決定する。

13. グリーン購入法の推進

(1) 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適合する環境物品（事務用品、OA 機器等）が発生する場合は、これを採用するものとする。

(2) 本仕様に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

14. 協議

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、QST と協議のうえ、その決定に従うものとする。

以上

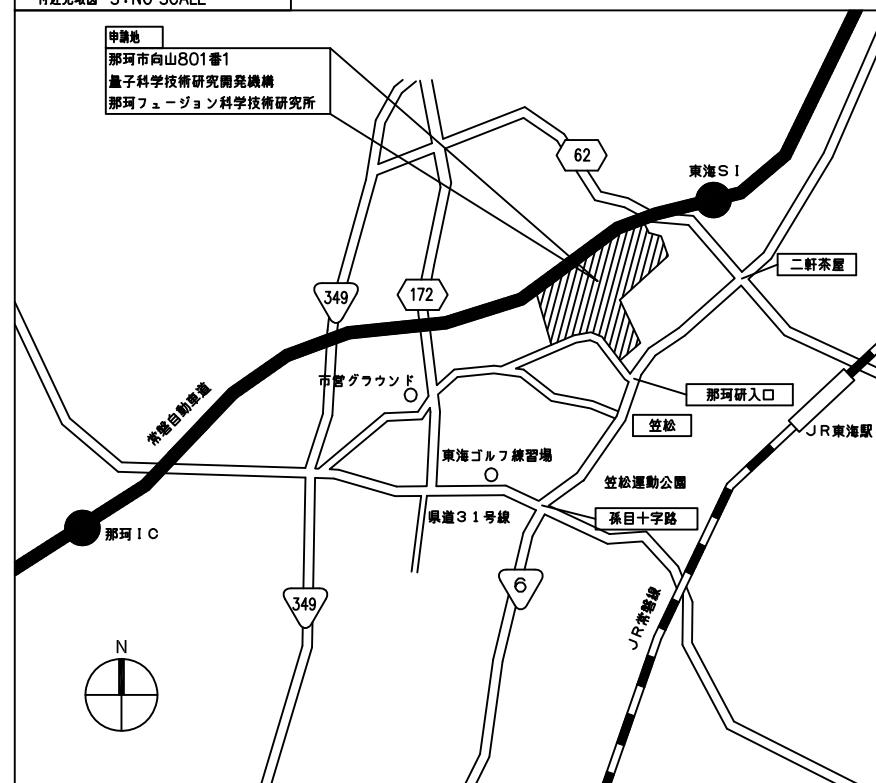
別添-1

対象クレーン設備

設置建家	0.5t以上3t未満		3t以上10t未満		10t以上30t未満		30t以上40t未満		40t以上100t未満		100t以上		橋形クレーン		合計
	一般区域	管理区域	一般区域	管理区域	一般区域	管理区域	一般区域	管理区域	一般区域	管理区域	一般区域	管理区域	一般区域	管理区域	
JT-60実験棟	9		2	4				1			1				17
JT-60発電機棟	1										2				3
JT-60付属実験棟	1														1
JT-60実験準備棟	1		2							1					4
JT-60一次冷却棟						1									1
JT-60二次冷却ポンプ棟			1												1
JT-60整流器棟	2														2
JT-60高圧ガス棟	1														1
JT-60加熱電源棟	4	3													7
JT-60実験棟増築部	2														2
JT-60機器収納棟											1				1
超伝導導体製作棟	1		1												2
第一工学試験棟	6							1							7
プランケット工学棟	1														1
廃棄物保管棟	1														1
排水処理施設	1														1
超伝導コイル巻線棟												1			1
先進計測開発棟					1										1
ヘリウム圧縮機棟					1										1
真空容器組立棟					1										1
機器調整棟					1										1
先進加熱開発棟	1							2							3
合計	32	3	6	4	4	1	2	1	1	1	3	1	1	0	60

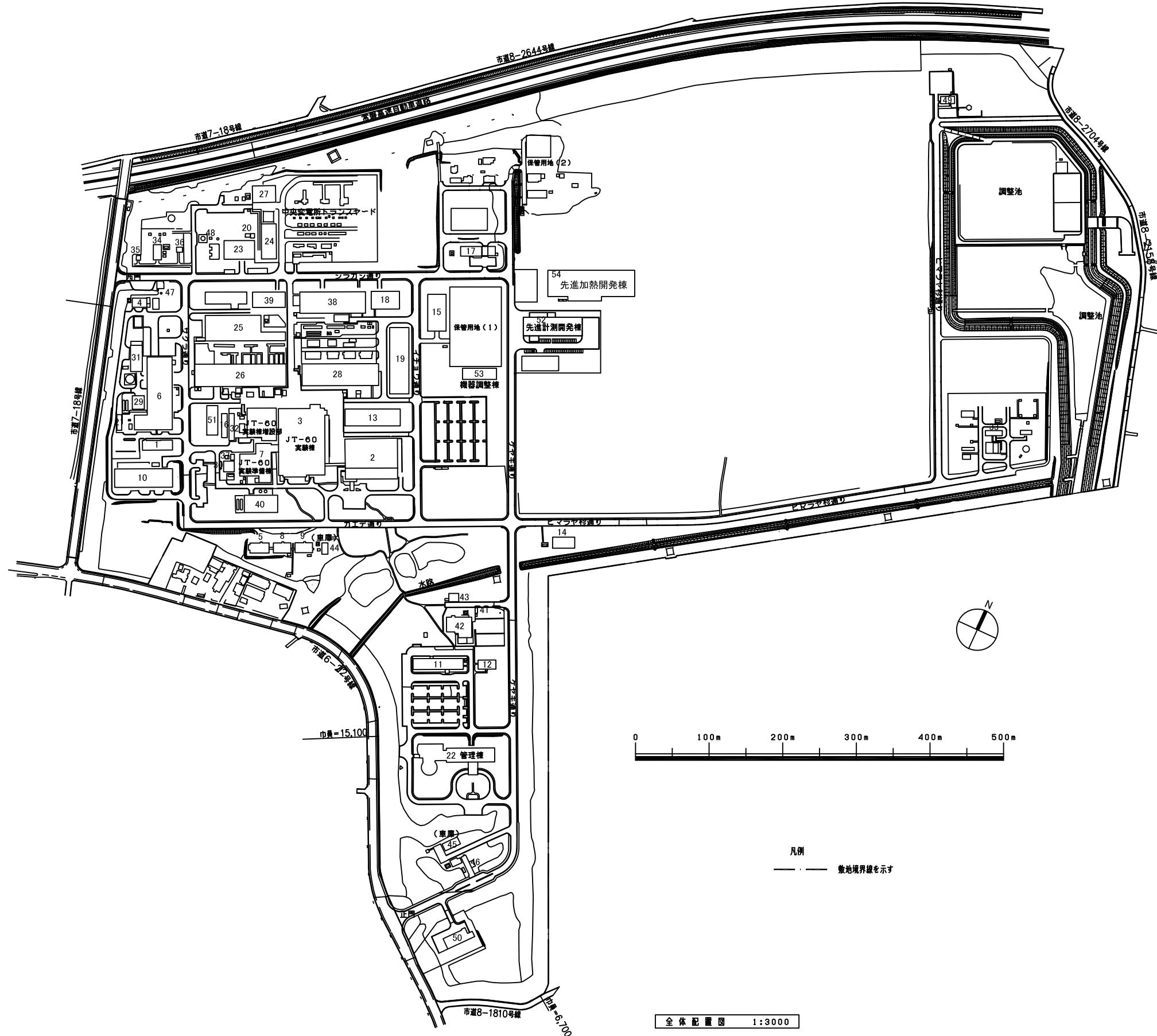
付近見取図 S: NO SCALE

申請地
那珂市向山801番
量子科学技術研究開発機構
那珂フェージョン科学技術研究所



那珂フュージョン科学技術研究所構内の建物リスト

No.	建屋名称	No.	建屋名称
1	第1工学試験棟 居室棟	36	給水ヘッダー棟
2	JT-60制御棟	37	JT-60実験準備棟 ポンプ棟
3	JT-60実験棟	38	JT-60一次冷却棟
4	第1工学試験棟 付属建屋	39	JT-60二次冷却ポンプ棟
5	管理第1棟	40	JT-60高圧ガス継続棟
6	第1工学試験棟	41	構内食堂ガスボンベ室
7	JT-60実験準備棟	42	構内食堂
8	管理第2棟	43	構内売店
9	管理第3棟	44	倉庫（旧車庫）
10	JT-60付属実験棟	45	構内車庫
11	ITER研究開発棟	46	中央警備詰所
12	ITER棟 付属建屋	47	通用門警備詰所
13	超伝導コイル巻線棟	48	中央機械室 中和槽ポンプ室
14	超伝導コイル製作棟	49	スポーツハウス
15	真空容器組立棟	50	ITER国際交流棟
16	増設インバータ棟	51	ヘリウム圧縮機棟
17	物品倉庫	52	先進計測開発棟
18	JT-60廃棄物保管庫	53	機器調整棟
19	JT-60機器収納棟	54	先進加熱開発棟
20	中央機械室 倉庫		
21	第1工学試験棟 付属保管庫		
22	管理研究棟（多目的ホール、展示館含む）		
23	中央機械室		
24	中央変電所		
25	JT-60発電機棟		
26	JT-60整流器棟		
27	非常用発電機室		
28	JT-60加熱電源棟		
29	第1工学試験棟 コンプレッサー室		
30	JT-60実験準備棟 コンプレッサー室		
31	第2コンプレッサー棟		
32	インバータ棟		
33	排水処理施設		
34	給水ポンプ棟		
35	量水器棟		



【凡例】

- 一種管理区域 ○ 月例点検 ■ 性能試験再試験(実荷重)
- ◎ 二種管理区域 △ 年次点検
- ☆ 一般区域 × 荷重試験
- ※ 荷重免除 □ 性能検査

令和8年度クレーン年間自主検査実施計画(案)

No.	荷重試験免除	区域	入域制限時間指定	クレーン担当課室	管理番号	クレーン種別	設置建家	設置場所	定格荷重(t)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	性能検査期限	備考
1		◎		先進プラズマ研究部 先進プラズマ第2実験Gr	NA-13	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟 3F	計測準備室	3t	○							△×□					R8.12.6	5093
2		☆			NA-12	テルハ	JT-60 実験棟 3F	シールドルーム(I)	0.5t							○		△×					
3		☆			NA-14	テルハ	JT-60 実験棟 2F	計測調整室(I)	0.5t	○								△×					
4		☆			NA-15	テルハ	JT-60 実験棟 2F	計測調整室(II)	0.5t							○		△×					
5		☆			NA-13	テルハ	JT-60 実験棟 3F	シールドルーム(II)	0.5t	○								△×					
6	※	☆		トカマクシステム技術開発部 JT-60SA電源・制御開発Gr	NA-5	クラブトロリ式天井クレーン	JT-60 発電機棟	MG室	250/50t	○	○	○	○	○	○	○			△		R10.3.22	5050	
7	※	☆			NA-6	クラブトロリ式天井クレーン	JT-60 発電機棟	MG室	250/50t	○	○	○	○	○	○	○			△		R10.3.22	5051	
8		☆			NB-25	テルハ	JT-60 整流器棟 1F	VCB室	2t					△×									
9		☆			NB-26	ウォールジブクレーン	JT-60 整流器棟	屋外西側	1t	○	○	○	○	△×	○	○	○	○	○	○	○		
10		☆			NB-28	ウォールジブクレーン	JT-60 発電機棟	屋外西側	1.5t		○		○	△×	○	○	○						
11	◎			トカマクシステム技術開発部 JT-60SA本体開発Gr	NA-7	クラブトロリ式天井クレーン	JT-60 一次冷却棟	一次冷却室	20/5t	△×□	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.5.13	5060
12	※	◎			NA-11	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟 B1F	ガス冷却室	5t	○	○	○	○	○	○	○	○	△□	○	○	○	R8.12.6	5096
13	※	●			NA-15	クラブトロリ式天井クレーン	JT-60 実験棟	本体・組立室	250/70/3t	○	○	○	○	○	○	△□	○	○	○	○	R8.9.22	5090	
14	●				NA-16	クラブトロリ式天井クレーン	JT-60 実験棟	本体・組立室	30/5t	○	○	○	○	○	△×□	○	○	○	○	○	R8.9.22	5103	
15	☆				NA-9	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟 1F	真空試験室	2t						○			△×	○				
16	☆				NB-11	テルハ	JT-60 実験棟 1F	地下ダクト屋外	2.8t	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△×	○	○		
17	☆				NA-8	ハイスト式天井クレーン	JT-60 二次冷却棟ポンプ棟	ポンプ室	5t	△×□	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.5.11	5064
18	◎				NB-29	ハイスト式天井クレーン	JT-60 廃棄物保管棟	廃棄物保管室	2.8t	○		○			○			△×	○	○			
19	※	●			NA-17	ハイスト式天井クレーン	JT-60 機器収納棟	機器収納室	100/30/5t	△		○			○			○				R9.4.23	5859
20	☆				NB-7	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟 1F	JVX室	2t		○			△×		○			○	○			
21	◎				NA-20	ハイスト式天井クレーン	JT-60 真空容器組立棟		10t	○	○	△×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R8.6.24	6191
22	※	☆			NA-9	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟 B1F	RF増幅室(I)	3t	○	○	○	○	○	○	○	○	△□	○	○	R8.12.6	5098	
23	☆				NA-23	ハイスト式天井クレーン	機器調整棟		10t	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△×	○	R10.2.25	6390
24	☆				NB-38	テルハ	JT-60 加熱電源棟2F	NBI電源室(II)	1.5t	○		△×	○		○		○		○				
25	※	◎		ITERプロジェクト部 RF加熱開発Gr	NA-12	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟 4F	RF増幅室(II)	3t	○	○	○	○	○	○	○	○	△□	○	○	○	R8.12.6	5094
26	☆				NA-14	テルハ	JT-60 実験棟	屋上	5t	○	○	○	○	○	○	○	○	△×□	○	○	○	R8.12.6	5095
27	☆				NB-8	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟 1F	RF調整室	2t	○	○	○	○	△×	○	○	○	○	○	○			
28	☆				NB-23	テルハ	JT-60 加熱電源棟 1F	RF電源室	2.8t	○	○	○	○	△×	○	○	○	○	○	○			
29	☆				NB-5	ハイスト式天井クレーン	JT-60 付属実験棟	大実験室	2.8t	○	○	○	△×	○	○	○	○	○	○	○			
30	※	◎		ITERプロジェクト部 NB加熱開発Gr	NA-10	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟 B1F	ヘリウム液化機室	3t		○		○		○		○		△□	○	○	R8.12.6	5097
31	※	◎			NB-6	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟 B1F	RV室(I)	2.8t		○							△					
32	☆				NB-17	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟増設部	RV室(II)・1号機	2.8t	○	○	○	○	○	○	○	○	△×	○	○	○		
33	☆				NB-18	ハイスト式天井クレーン	JT-60 実験棟増設部	RV室(II)・2号機	2.8t	○	○	○	○	○	○	○	○	△×	○	○	○		
34	☆				NB-20	ハイスト式天井クレーン	JT-60 高圧ガス棟 2F	コンプレッサー室	2.8t	○	○	○	○	△×	○	○	○	○	○	○			
35	◎				NB-22	テルハ	JT-60 加熱電源棟 1F	NBI電源室(I)	2.8t	○	○	○	○	△×	○	○	○	○	○	○			
36	☆			ITERプロジェクト部 プラズマ対向機器開発Gr	NB-24	テルハ	JT-60 加熱電源棟 2F	予備品	2.8t	○	○	○	○	△×	○	○	○	○	○	○			
37	☆				NB-36	ハイスト式天井クレーン	ブランケット工学棟	炉心工学ループ試験室	2t	○	○	○	△×	○	○	○	○	○	○	○			
38	☆				NA-1	クラブトロリ式天井クレーン	第一工学試験棟	大実験室	50/5t	○	○	○	○	△×	○	○	○	○	○	○	R8.8.21	4975	
39	☆				NB-1	ハイスト式天井クレーン	第一工学試験棟	コンプレッサー室	2.8t		△×												
40	☆				NB-2	ハイスト式天井クレーン	第一工学試験棟	液化機室	2.8t		△×												
41	☆			ITERプロジェクト部 超伝導磁石開発Gr	NA-3	ハイスト式天井クレーン	第一工学試験棟	導体試験室	1.5t	○	○	△×	○	○	○	○	○	○	○	○			
42	☆	</td																					